

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立鳩ヶ谷高等学校)

目指す学校像	総合制高校として3学科の特色を生かし、生徒一人一人が主体的に学ぶ力を育成する学校
--------	------------------------------------------

重点目標	1 教育課程や授業の工夫を図り、生徒の学習意欲を高め、確かな学力を育成する。 2 学校全体で、挨拶励行や身だしなみ指導などに取り組むことにより、生徒に自らを律する心を育み、基本的生活習慣の確立を図る。 3 3年間を見通した進路指導により、生徒に目的意識を持たせ、進路実現を図る。 4 開かれた学校づくりを推進することにより、保護者・地域の信頼に応える。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 年2回実施のアンケート結果では教員の分かりやすい授業への工夫や生徒の家庭学習への取組について、改善する余地がある。 【課題】 3学科の特色を生かした多様な指導をとおして、学習への「主体性」を高め、明確な目的意識を持たせる必要がある。	○生徒に確かな学力を身に付けさせるため、組織的な支援体制を構築する。	①全職員が共通実践する基本的な生活習慣の指導と授業規律を確保する。 ②家庭学習時間を増加させる。 ③総合選択制を生かし個性を伸長する。 ④評価評定のフィードバックの方法と内容を工夫する。	①チャイム始業100%。 ②家庭学習が昨年度より増加した生徒の割合80%以上。 ③来年度の科目選択において、目的意識を持たせることができたか。 ④生徒の意欲が向上する評価評定を工夫改善できたか。	組織的支援体制が構築しつつある ①学年団を中心に指導した結果、チャイム始業に取り組んだと感じている生徒は90.7%であり、組織的に取り組むことができた。 ②家庭学習が昨年度より増加した生徒はわずかだった。 ③生徒の個性伸長のため、教務部と学年団が連携し科目選択のきめ細かな指導を行った。明確な目的意識を持たせることができた。 ④生徒の意欲が向上する評価評定の工夫改善には個人で取り組むことができたが、組織的には着手することができなかった。	B	生徒の学習意欲を向上させる授業規律づくりを推進するとともに、学年団や教務部を中心として総合選択制を生かして、目的意識を持たせることが重要である。また、主体的・対話的で深い学びに取り組む教員も増え、確かな学力を身に付けさせる組織的支援体制を充実させていくことも必要である。 次年度は、授業以外の学習時間の増加と学習習慣を身に付けさせる具体的方策を策定し取り組むことが求められている。
2	【現状】 日常の生徒指導により、時間厳守や挨拶等の基本的生活習慣が整いつつある。 【課題】 生徒が自らを律する心を育成する必要がある。	○生徒の自律心を育成する。	①基本的生活習慣を確立するために、挨拶励行と身だしなみ指導を徹底する。 ②交通事故防止に向け、正門指導等での交通安全指導の取組を充実させる。 ③課題を抱える生徒への対応体制を充実させるために、外部機関を活用する。	①元気に挨拶する生徒が増えたか。 ②交通事故が減少したか。 ③充実した学校生活だと思える生徒・保護者の割合90%以上。	自律心が育成された ①全職員がさまざまな機会をとらえて身だしなみ指導や遅刻指導等に取り組んだ結果、挨拶励行に取り組んでいると感じている生徒は、90.7%であった。 ②全学年とも生徒指導部を中心に、交通ルールの遵守を繰り返し指導したが、自転車事故は14件に増えた。 ③充実した高校生活だと思える生徒72.8%、保護者90%であった。課題を抱える生徒の支援体制は外部機関を活用し充実してきている。	A	生徒指導部を中心として日常的な指導により、自らを律することができる生徒が増えている。 引き続き、身だしなみ指導と遅刻指導を行い、生徒の自律心を育成する。 また、次年度は、自転車乗車マナーの実践的指導等に重点をおき取り組む必要がある。
3	【現状】 きめ細かな進路指導により、進路決定者は約9割と成果を上げている。 【課題】 生徒の進路実現に対する高い目標とチャレンジ意識を醸成する。	○早期に、生徒に高い進路目標を持たせ、進路実現を達成する。	①進路指導と生徒指導の連携・充実を進める。 ②進路指導部を中心として学年横断的な体制を構築する。 ③保護者の意識を啓発し保護者と連携した進路指導を行う。 ④進路ガイダンスや面談をとおして、生徒に高い目標を持たせる。	①身だしなみに留意して授業を受ける生徒が増えたか。 ②進路指導部と学年が連携して進路行事に取り組めたか。 ③保護者の啓発を含めた進路指導の取組ができたか。 ④自主学習を行う生徒が増えたか。	進路実現が達成された ①全職員のきめ細やかな指導により身だしなみに留意して授業を受ける生徒は90.7%に増えた。 ②進路指導部が中心となり生徒にとって充実感のある進路行事を実施することができた。 ③新たに、保護者対象の奨学金説明会を行った。 ④進路ガイダンスをとおして生徒に目標を持たせることができた。	A	学年団を中心として進路指導部と生徒指導部を連携させ、授業規律の確保や進路目標を持たせることに取り組んだ。 今後は授業の延長線上に進路決定があることを意識させ、高い進路目標にチャレンジする意識を持たせる指導が必要である。
4	【現状】 学校説明会や授業公開、学校HPの更新を行い、学校の魅力を発信している。 【課題】 保護者や地域、卒業生、中学生の期待と信頼に応えるため、きめ細かい情報発信を行う。	○家庭や地域に対して、学校の教育情報発信を充実させる。	①学校HPの細部にわたる内容の更新を充実させる。 ②人から人への対話型情報提供を進める。 ③メール配信システムを活用し、保護者通知文配付等をリアルタイムで発信する。	①学校HPの更新回数が増やせたか。 ②対話型情報提供を構築することができたか。 ③リアルタイムで、保護者に通知文等の情報を発信できたか。	教育情報発信が部分的に達成できた ①学校HPの更新回数は、111回に増やすことができた。 ②中学校や地域との対話型情報提供は組織的に推進することができなかった。 ③メール配信システムの活用では緊急時での発信に止まった。	B	全職員の共通理解の下、学校行事や部活動の成果を発信しようとする教員が増え、学校HPの更新回数を増やすことができた。リアルタイムで保護者通知文等を発信し、保護者や地域の期待に応える学校づくりを行うことが重要である。

学校関係者評価	実施日 平成30年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善は、生徒との信頼関係が大切である。学校全体が落ち着いているので、教職員が連携して、取り組んでほしい。 ・授業規律は、チャイム始業に加え、教職員の授業展開方法と生徒の態度等への指導にも取り組んでほしい。 ・夏に設置したプロジェクトを活用した授業は見やすく分かりやすいので、もっと増やしてほしい。 ・生徒どおし相談しながらできる対話型授業は、達成感がある。 ・家庭学習が増えない原因を検証し、来年度は授業以外の勉強時間を増やす取組を推進してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と比べ、元気よく挨拶する生徒が増えている。また、整った身だしなみの生徒も増えている。指導が充実していることがよく分かる。 ・学校の外から見ても、スカート丈がきちんとしている生徒が増えた。 ・自転車の並列乗車が多いようだ。ルールについて十分な指導を期待する。 ・自転車乗車のルールを指導し、事故を無くす取組を推進してほしい。 ・安心安全の学校づくりは重要であるので、引き続き指導を行ってほしい。 ・生徒の自律心を育成する指導に対しほぼ達成できたという評価は妥当である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・就職では、各種検定の取得が大切なので、一層の指導を期待する。 ・進路指導は、生徒の一生を決める分かれ道となる。進路指導部や3学年を中心として、教職員が連携して取り組んでほしい。 ・園芸デザイン科では、国家試験取得や競技大会での成績を生かして、その分野に就職できると良い。 ・自己肯定感を高める取組をとおして、高い進路目標にチャレンジさせてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの積極的な情報提供は、学校と家庭の連携を図る上で重要である。対話型情報提供等に取り組む等の改善を図り、鳩ヶ谷高校をアピールしてほしい。 ・学校HP上では、中学生が興味を持つ部活動の情報に関して更新してほしい。HPは、生徒募集に有効である。見やすく分かりやすいHPの更新を期待している。 ・同窓会に関する情報も更新できると良い。 ・プロジェクトを活用した授業を、中学校にも広報し、生徒募集に生かしてほしい。